

氏名	高島 恭子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	障害者福祉 精神保健福祉				
学位	修士（社会福祉学）				
学歴	1986年国際基督教大学教養学部教育学科、2003年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程				
経歴	2006年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師、10年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科准教授、17年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科教授、17年長崎国際大学大学院人間社会学研究科教授、20年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会、日本保健福祉学会、日本グループホーム学会、日本発達障害学会、大学教育学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	発達障害白書	共著	あり	明石書店；P.200	日本発達障害連盟編	2021.9
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	「障害者権利条約と世界の国々《JD仮訳》フランス初回締約国報告（2016年5月）」翻訳	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、曾根原純、高島恭子、松井亮輔	2021.5
2	国際委員会報告「ソーシャルワークと社開発のためのグローバルアジェンダ第4次報告書—人間関係の重要性についての認識の強化—（2020年）」（p.3-16 翻訳）	単著	「ソーシャルワーカー」第20号		高島恭子	2021.7
3	グローバルSWドキュメント「ソーシャルワーク教育・養成のためのグローバル・スタンダード」（日本語翻訳）	共著	国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）ホームページにて公開		和気純子、Viktor Virag、森恭子、上田まゆら、藤岡孝志、諸井一郎、高島恭子	2021.9
4	「障害者権利条約と世界の国々《JD仮訳》イギリス初回締約国報告（2011年11月）」翻訳	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2021.10
5	「障害者権利条約と世界の国々《JD仮訳》オランダ初回締約国報告附属資料3「限りなき参加！」障害者権利条約の実施プログラム（2018年7月）」翻訳	共著	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2022.1
6	(昨年度記載漏れ) 『コミュニティの社会活動におけるエンパワメント評価 福祉、教育、医療、心理に関する「参加と協働」の実践知』	共著	ISBN：978-4-571-41065-9 福村出版；448頁 第13章担当		デヴィッド・M・フェッターマン、シャケ・J・カフタリアン、アブラハム・ワンダースマン編著、衣笠一茂監訳、増田公香・深谷裕・松原日出子・黒田文・松倉真理子・知念奈美子・西崎緑、中谷陽明、佐藤亜樹、松永千恵子、高島恭子、	2020.9

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	公益財団法人社会福祉振興・試験センター令和3年度福祉人材養成・研修助成事業	多様な文化的背景をもつ地域住民（外国人等）に対する総合的な支援をコーディネートする多文化ソーシャルワークに関する調査研究（多文化コーディネート調査）	研究分担者	2021.10～2022.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神保健福祉論Ⅱ	○	15	子育て、教育、就労、居住、地域生活支援などについて、精神保健福祉の観点から講義を行った。
2	精神科ソーシャルワーク論Ⅲ	○	15	精神障害者への支援の基本的考え方、精神科リハビリテーションの考え方、知識、技術を含め、講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	社会福祉演習		15	情報センターの利用、レポートの書き方、プレゼンテーション等を含め、情報を得て考えをまとめ表現しあう演習を行った。
2	ソーシャルワーク演習Ⅲ		15	グループワークの基礎技術を含め、ロールプレイによる体験的演習を行った。
3	社会福祉専門演習Ⅰ		15	文献の検索、精読、議論を通し、思考しまとめるための演習を行った。
4	社会福祉専門演習Ⅱ		15	文献の精読、議論を通し、思考し課題を整理するための演習を行った。
5	社会福祉専門演習Ⅲ		15	議論を通して、目的に沿って論理的に課題を整理し文章化する演習を行った。
6	社会福祉専門演習Ⅳ		15	論文の作法を修得し、4年間の学びの総括に取り組んだ。
7	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		15	実習目的の明確化、事業所や関連制度等の理解を含めた事前指導を行った。
8	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		15	現場実習での巡回指導、実習の学びの振り返り及び実習報告書の作成を含めた事後指導を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2021.8～2021.10	3年生を対象に、福祉事務所、障害福祉サービス事業所にて6～15日間の現場実習を終了させおおむね良好な成果を得た。メンタルヘルス上の課題をもつ学生1名に対し、ゼミ担当教員他と連絡を取りながら教育支援を行ったが、単位取得は保留となっている。
2	ヒューマンケア体験実習		学内実習：15	全体のプログラムに沿って、学生の参加とグループ活動を促進させた。
3	精神保健福祉援助実習		学内実習：8	家族支援、災害時支援に関連し、精神保健福祉援助に係る専門的知識の修得を図った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2021.12	主指導	2名 副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	佐久大学 非常勤講師	2021.8～2021.11	「障害の福祉学Ⅰ」（15コマ）を非常勤講師として担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	意思決定支援研修の成果（冊子）報告	長崎県手をつなぐ育成会	意思決定支援研修の成果と今後の課題について講演した。	2021.6
2	Web講座	埼玉県立大学	「新型コロナウイルスと私たちの生活」	2021.6
3	2021年度社会福祉士実習指導者講習会	埼玉県立大学	「実習スーパービジョン論【演習(1)(2)】」を担当した。	2021.7
4	埼玉未来大学 川越キャンパス	公益財団法人いきいき埼玉	「心をつなぐコミュニケーション」	2021.10
5	要保護児童対策調整機関の調整担当者研修等	埼玉県福祉部 とも安全課	「障害相談・支援の基本」を担当した。	2022.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市	越谷市社会福祉審議会 委員	2021.5～2024.5	
2	北本市	北本市地域福祉推進委員会 委員	2021.10～2024.9	
3	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会	理事・国際委員会委員	2021.7～2023.6	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	学科等における委員会等	国家試験支援担当	2020.4～2022.3	
2	学科等における委員会等	精神保健福祉士関連科目履修者選考委員会委員	2021.4～2022.3	
3	学科等における委員会等	社福カリキュラム運営WG	2021.4～2022.3	
4	学科等における委員会等	オープンキャンパスなど入試実施に関わる補助業務担当	2020.4～2022.3	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			